

消化器内科・内視鏡内科 研修プログラム

1 研修先

消化器内科・内視鏡内科

2 指導体制

各科・診療部門における指導体制は、別表「指導医及び指導者一覧」を参照

3 診療科基本スケジュール

- (1) 研修期間 必修研修 4 週間
 自由選択研修 4 週間

※自由選択が1回目の研修は当該期間を短縮することはできない
 (延長は可) が、2回目以降の研修は短縮することができる。

(2) 配置予定

	必修研修	自由選択研修
病 棟	回診、検査・処置を見学	回診、検査・処置を指導医、上級医の元で実施
外 来	内科救急 (担当日)	内科救急 (担当日)
検 査	内視鏡検査全般の見学	消化管内視鏡の実施を目指す
その他	消化器の穿刺術や IVR の見学	消化器の穿刺術や IVR の見学

(3) 週間予定表

	午 前	午 後
月	病棟回診、検査・処置見学・補佐	病棟回診、検査・処置見学・補佐
火	7:30～ 胆・膵カンファレンス 病棟回診、検査・処置見学・補佐	病棟回診、検査・処置見学・補佐
水	8:00～ キャンサーボード 8:30～ 消化器・内視鏡内科ミーティング 病棟回診、検査・処置見学・補佐	病棟回診、検査・処置見学・補佐
木	病棟回診、検査・処置見学・補佐	病棟回診、検査・処置見学・補佐
金	病棟回診、検査・処置見学・補佐	病棟回診、検査・処置見学・補佐 16:30～ 消化管カンファレンス

4 研修目標

必修研修は消化器疾患の病態、検査、処置の基本的な理解を深めるために、上級医・指導医に従い見学を中心とした研修を行う。必要に応じて検査・処置の介助や補佐を行う。

自由選択研修は、必修研修で行った研修を基に消化器疾患の診断、治療、手技についてより深い知識を修得し、専門医を目指す上で必要な基本手技を習熟するための研修を行う。上級医・指導医の指導の下で積極的に検査・処置の介助や実施を担当する。

#	代表的行動	知 識	態 度	技 能
①-1	病状の緊急性を判断し、必要時は上級医・救命救急医・外科医に速やかに連絡する。	●	●	●
①-2	問診・理学的所見などから必要な情報を収集し、鑑別診断を挙げる。	●	●	
①-3	上級医にプレゼンテーションを行い、鑑別に必要な検査・治療方針について述べる。	●	●	
②-1	担当患者の社会的背景も含め、病状経過・検査所見・治療経過（計画）をプレゼンテーションする。	●	●	●
②-2	担当患者の医学的・社会的背景を考慮しつつ、退院を支援し計画する。	●	●	
③-1	多職種間で蜜に連絡をとり、統一した意志もとで退院支援を計画し実行する。	●	●	

#	代表的行動	知 識	態 度	技 能
①-1	患者、家族、かかりつけ医から身体的、精神的・社会的な背景も含めて情報を収集し、カルテに記載する。	●	●	●
①-2	血液データ・画像検査（US CT 内視鏡）から患者状態を把握し、プレゼンテーションする。	●	●	●
②-1	前処置も含め内視鏡検査・内視鏡治療の方法や起こり得るリスクを説明する。	●		
②-2	輸血に関して、適応・リスクを説明する。	●		
②-3	カンファレンスで患者の状態をプレゼンテーションし、治療方針についてディスカッションする。	●	●	●
③-1	SOAPIに従って遅延なくカルテの記載を行う。	●	●	●
③-2	退院時サマリーを遅延なく作成し、上級医のチェックを受ける。	●	●	●
③-3	新たな判断や検査を行う際には、その根拠をカルテに記載する。	●	●	●

5 経験すべき症候・疾病・病態（赤文字下線付きは必須項目）

経験すべき症候(※1)	体重減少・るい瘦、 <u>黄疸、吐血、下血・血便</u> 、腹痛、便通異常（下痢・便秘）
経験すべき疾病・病態(※2)	胃癌、 <u>消化性潰瘍、肝炎・肝硬変、胆石症</u> 、大腸癌

※1 外来又は病棟において、上記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応を行う。

※2 外来又は病棟において、上記の疾病・病態を有する患者の診療にあたる。

6 経験すべき手技

採血法（静脈血）、注射法（静脈確保）、注射法（中心静脈確保）、穿刺法（腹腔）、胃管の挿入と管理、超音波検査（腹部）

7 実際の業務

(1) 病棟研修

- ・月曜から金曜まで病棟での回診や処置などの研修を行う。
- ・主治医である担当上級医・指導医と共に担当医となる。

(2) 検査、処置

- ・下記の検査、処置を見学し、指導医・上級医の指導のもとに介助を行う。
腹部超音波検査、内視鏡検査・治療（消化管、胆膵）、超音波内視鏡検査・治療、血管造影検査、腫瘍内エタノール局注療法、ラジオ波焼灼療法、胃瘻造設術など。

(3) カンファレンス

- ・週1回（火曜日 7:30～、内視鏡室）胆・膵カンファレンスに（自由）参加する。
- ・週1回（水曜日 8:00～、新東棟2階会議室）がんセンターボードに（自由）参加する。
- ・週1回（金曜日 16:30～、内視鏡室）消化管カンファレンスに（自由）参加する。
- ・月1回（第3週金曜日 17:30～、南棟3階会議室）胆・膵手術症例検討会に（自由）参加する。
- ・学会、研究会、講演会には積極的に（自由）参加する。

8 指導内容

病棟患者は指導医と上級医（レジデント）の複数医体制で診療している。必修研修は研修担当上級医と自由選択研修は担当指導医と共に担当医となり回診を行い、診断、検査計画、治療計画、処置などを指導する。

内視鏡検査・治療や腹部エコー検査を見学、介助を行い、検査医担当医より直接指導する。

9 方略・評価

必修研修は担当上級医担当の患者を中心に消化器・内視鏡の診療を行い、見学を中心とした研修で診断、検査、治療の理解と患者面談の基本や社会医学的な知識を深める研修を行う。自由選択研修は担当指導医からより深い消化器疾患の診断、検査、治療の指導を受け、検査の介助を行う。指導医が研修医を指導するとともに担当上級医の報告をうけ評価を行う。